



大町市の企業紹介⑤

— 地域を支える地方企業 —

毎月1日号の広報おおまちで、市内の企業を紹介しています。原稿は各会社から提出いただいた原稿を基に掲載しています。また、掲載を希望する企業は、商工労政課(TEL内線541)までご連絡ください。

有限会社 だいきく食品

信州らしさをお客様に楽しんでもらいたい

当社は昭和46年に「わかます」で創業し、主にお弁当、お寿司、おにぎりなどを製造・販売している会社です。

創業当時は黒部に観光に来られるお客様に、駅での助六寿司の販売を行っていましたが、昭和59年に業務拡大し、社名を現在の有限会社だいきく食品に変更。助六寿司からはじまり、弁当・仕出し・土産などの分野まで製造・販売するようになりました。

近年は、旅行関係のお弁当に精力的に取り組み、県内全域に販路が拡大しています。

最近、相次ぐ食品業界での不祥事により、食に対する関心が強くなってきている中、当社では「食の安心、安全」をモットーに、衛生管理や商品管理を徹底し、地域での模範になるような管理を目指すべく、日々精進しています。

観光産業においては、「信州」らしさをテーマに、大町の特産や安曇野の特産を原材料に使用し、見ても楽しく食べておいしく旅の楽しみを実感してもらえよう、そして、多くの人々に大町よさを分

かってもらえるような商品作りを続け、地域に貢献できるように励んでいきたいと思っています。



●所在地等
大町市大町2193番地
TEL22・50087
会社ホームページ
<http://www1.ocn.ne.jp/~wakamasu/>

●代表者
代表取締役 上島信幸

●事業内容
食品製造、卸、販売

有限会社 田中屋

徹底した商品管理とお客様に安心と安全をお届けします

当社は、昭和42年に菓子販売業者として創業しました。観光都市大町を代表する土産品の開発に取り組み、「餅は餅屋」という考えから、製造は専門業者に任せ、当社は菓子の商品名やアイデア、包装のデザインと販売に専念しています。

創業当初、初めて黒部ダムを訪れたときに、雄大な景観と秘境だった黒部溪谷に完成した巨大なダムに胸を打たれ、大きな感銘を受けました。その感動を都会の人々に見合うようなおみやげの菓子づくりを目指し、試行錯誤のうえ、昭和47年に「雷鳥の里」の販売を開始しました。以来、35年になりますがおかげさまをもちまして、大町市内はもとより、長野県内各地の土産品店でお取引をいただいています。

お客様に安心してお召し上がりいただくためにも、徹底した商品管理や安全管理を行い、時代とともに変化するお客様の価値観に合わせるべく、日々新商品の開発に力を注ぎ、地域の発展のため、まい進すべく社員一丸となつて

ばっています。

商品づくりの基本は「信頼が第一」を目標に、作業工程等の安全確認を行い、おいしいものを大町から全国にお届けできるよう、今後もレベルアップに取り組みまいります。



●所在地等
大町市大町1577番地
TEL22・30200

●代表者
代表取締役 田中勝

●事業内容
土産品製造、卸